

技術提案書作成要領

技術提案書の内容は、次の3つの特定テーマとします。1テーマにつきA4判片面1枚(1ページ)以上(書式は自由)とし、合計6枚以内とします。また、図表、写真等の掲載に伴う添付資料の追加は可とします。追加の添付資料は、1テーマにつきA4判片面2枚又はA3判片面1枚までとします。カラー、白黒印刷についての指定はありません。部数については、原本1部、写し10部提出してください。

なお、技術提案書には、会社名の記述は行わないでください。

【業務の目的・背景】

別紙1「業務内容説明書 1 業務目的」のとおりです。

【提案事項】

本業務を進めるにあたり、「別紙1 業務内容説明書」の内容も踏まえ、次の3つの特定テーマについて提案をしてください。

提案事項	内容
(1) 移動需要への的確な対応と走行環境の改善に向けた提案	現在、通学時間帯における湘南台駅での乗りこぼしや、朝夕の道路混雑による遅延が大きな課題となっている。都市計画道路高倉遠藤線の4車線化供用後においても、2車線への擦り付け区間におけるボトルネックの発生や、交通量の変化による定時性の低下が懸念される。これらに対し、深刻化する運転手不足等の社会情勢を背景に、現在のバス運行をより効率的に行うためのアイデアや、走行環境の物理的な改善策など、実現可能性に配慮しつつ即効性と実効性のある施策案を求める。
(2) BRTの段階的な機能充実に向けたロードマップの策定	地域の将来的な交通需要の変化や技術革新を見据え、公共交通体系を段階的に進化させていく必要がある。BRTを軸としつつも、地域全体の交通環境をどのように成熟させていくか、技術・インフラ・運営の各視点をフラットに統合した中長期的な戦略(ロードマップ)の提案を求める。
(3) 地域公共交通との連携強化およびシームレスな移動環境の構築	BRTの導入効果を沿線全体に波及させるためには、シェアサイクル等の多様な移動手段と円滑に結節し、地域全体の公共交通網の利便性を高めることが不可欠である。単なる交通結節点の整備に留まらず、利用者の視点に立ち、誰もが使いやすい設計の追求やデジタル技術の活用により、乗り継ぎの心理的・身体的負担を軽減するシームレスで快適な移動環境の構築に向けた提案を求める。